

美術手帖

創刊60年記念特大号

2008.12

vol.60 NO.916

<http://www.bijutsu.co.jp/bss/>

BT

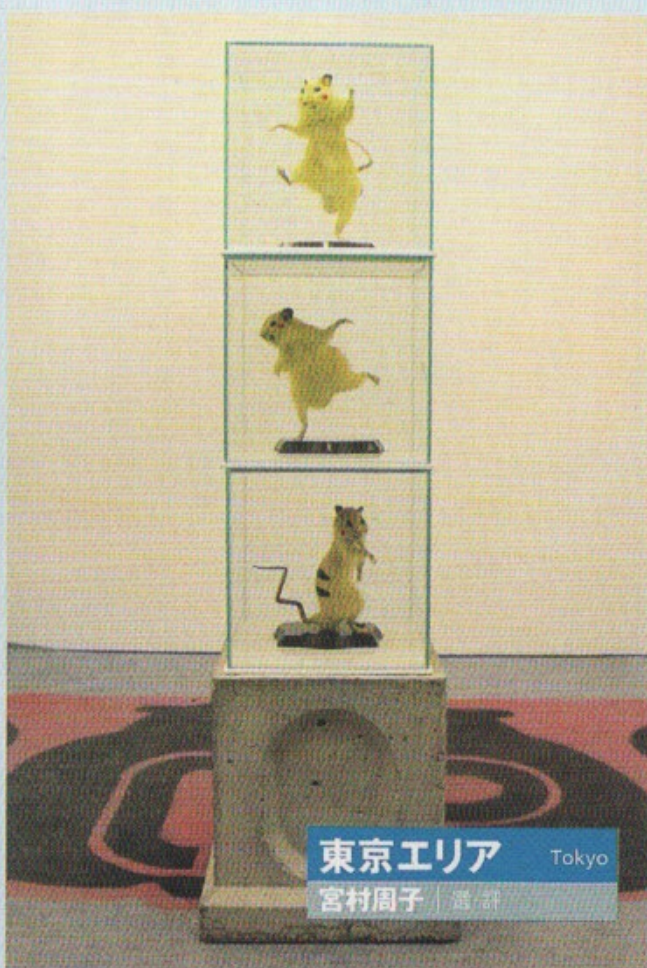


美術手帖60年史

730号の歴史がこの1冊で体感できる!!



SUPER RAT 2006 DVD

東京エリア Tokyo
宮村周子 | 選・評

会場風景 撮影=木奥恵三

Chim ↑ Pom (チンボム)
「スーパー☆ラット」

無人島プロダクション

12月8日—1月20日

東京

中央線の列車音が轟く線路際の飲み屋街。とある居酒屋上階のスペースに入ると、そこはさながら銀座のブランド店のようだった。ラグジュアリーな陳列棚には黄色いアイテムが並ぶ。その品とは……ネズミを剥製にし、着色したピカチュウ! オエーッ。愛らしいポーズをとる彼らはこのうえなくかわいいのに、同時に、無性に嫌悪感がこみ上げてくる。

20代のメンバー6人で結成されたアートユニット、Chim ↑ Pom (チンボム)。映像制作を得意とする彼らの

初個展の核は、「プレイステーション・ポータブル」で流されるドキュメント映像だ。ネズミたちは、真夜中の渋谷のセンター街で、ゴミ置き場を漁って捕獲されたい。都会の真ん中で、驚くほど多くのネズミが捕れるという事実、に、ますのけぞってしまった。

Chim ↑ Pomの過去の映像作品がまた強烈だ。紅一点のエリがピンクの液体を一気飲みして吐き散らしたり、火だるまになりながら海に飛び込む男など、どれも自虐的なエロログロ・ナンセンスが炸裂する。You Tubeにありそうなおバカ系自爆テロは都会人のカタルシス? この集団、何をやらかすかわからない危険な魅力でいっぱいなのだ。

個展タイトル「スーパー☆ラット」

はもちろん「スーパーフラット」の駄洒落。そういえば、村上隆のDOB君もミッキーマウスがご先祖だ。欧米で成功した日本のポップ・アートの手の届かなさと、ドブネズミみたいに都会の毒を食らって生きる庶民の現実の対比。国産アートが普通にネタにされること自体感慨深い、グローバルに文脈が絡んだ突然変異体の不気味さは際だっている。ここには、日常空間にグリラ的に入り込み、真実を暴く介入芸術や、剥製を使ったアートの系譜、そしてアニメやゲームの虚構性や都会のゴミ問題までが渾然一体となっている。変身を遂げたピカチュウは、後に渋谷へ帰還し、古巣を背景に記念撮影された。都会ネズミたちの冒険活劇は、実は驚くほど奥が深い。

感覚装置としてのアクション、動きがつくる絵画

ジョーン・ジョナス、泉太郎、Chim ↑ Pom

松井みどり評

パフォーマンスの種類として、作家による行為が哲学的神話的内容を暗示する「演技」、観客自身の行為から新たな知覚を引き出す装置、さらに、作家の行為や振り付けをとらえて観客の感覚的心理的な反応を喚起する第三のカテゴリが考えられる。9月と10月、ワコウ・ワークス・オブ・アートで上映されたジョーン・ジョナスの3本の初期フィルムは、この第三のカテゴリの創造性について、改めて考えさせてくれた。

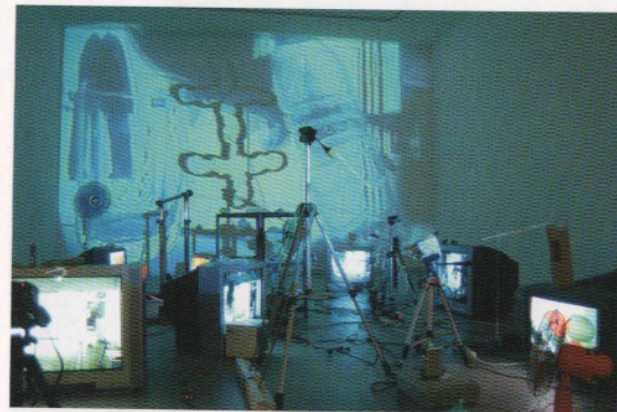
3本のうち特に、『Wind』(1968)と『Songdelay』(歌の遅延)(1973)が、ジョナスのパフォーマンスの体験性を伝

えていた。その特徴は、シンプルな動きを組み合わせた振り付けを、素人に近い人々に野外で行わせ、彼らが固定カメラに映りこむタイミングや、動きの速度や、カメラとの距離などを計算して、四角いフレームのなかに切り取っていくものだ。それらが編集されて、映像空間のなかで展開する絵画や音楽のようなものを構成するのだが、その場の風景や天候、偶然視界に入ってくるものや音も、その一部として取り入れられる。

その過程で、動作の組み合わせや、速度のずれによって、歩く、横切るといった日常的な行為が、観客の記憶を刺激し、突然象徴的



ジョーン・ジョナス 右—Wind 1968 5分37秒 左—Songdelay 1973 18分35秒
©Joan Jonas Courtesy Wako Works of Art



泉太郎 干し肉 2008 ビデオ・インスタレーション Courtesy the artist and hiromiyoshi

な意味を喚起することがある。例えば、海岸を散歩する一組の男女の姿が始まる『Wind』では、4人の男女による強風に上着を飛ばされそうになり必死で抑えるとい

う行為が、「ダンス」として組み込まれていた。そのシンプルな動きも、背中を折り合わせながら横ばいする動きや、波打ち際からカメラに向かってゆっくりと歩いてくる黒服に仮面を付けた女性との関わりの中で、どこか悪夢的な雰囲気

気を帯び始める。

一方『Songdelay』は、録音装置付きフィルムカメラの、遠くのものを出す音を、その動きよりも遅れてとらえる、という技術的な特徴を生かすことから発展した。そこでは様々な感覚的刺激が、いくつかの異なる方向からやってくる。それぞれの要

素を統合し、絵画的音楽的体験として味わうのは観客の役目だ。例えば、カメラに向かって拍子木を打ち鳴らす人の動作に少し遅れて、その音が鳴り響く。その人の背後の運河に、ゆっくりと貨物船が入ってくる。男達の低い声に、女性のやや高い声が混じり、そこにヘリコプターの音がかぶさる。かと思えば、地面に棒で円を描く女性の姿を上からとらえる別のカメラによって、空間のなかに図形が描かれる。また、カメラに向けられた鏡の光の反射が「絵」に穴をあけ、観客の目を直撃する。

そこでは、音はイメージからずれることで意味的因果関係を失い、ただの音となる。とともに、それは、ちょうど抽象表現主義の絵画のキャンパスの筆跡のように、空間の「絵画」を構成するイメージの一部として機能する。タイトル「歌」とは、映像に登場する棒を操る女性の鼻歌や、会話

原宿・大小29スペース!!! ¥525/1日で個展ができる!

DESIGN-FESTA-GALLERY EAST&WEST

- 年齢、国籍、ジャンルは問いません。オリジナルであればどなたでもご利用出来ます。
- 80cm×80cm(¥525/1日)から最大67㎡の展示空間!
- 作品の販売も自由!(委託料・手数料なし)

WESTアートスペース(¥525/1日)

出展アーティスト募集中!

個人・グループでの出展はもちろん、企業の新作発表の場として! また、学校・教室・地域団体など、活動の幅を広げるワークショップ、マルチスペースとしてご利用ください!

11:00 - 20:00 <年中無休・入場無料> TEL: 03-3479-1442 FAX: 03-3479-1498 Email: info@designfestagallery.com

12スペース

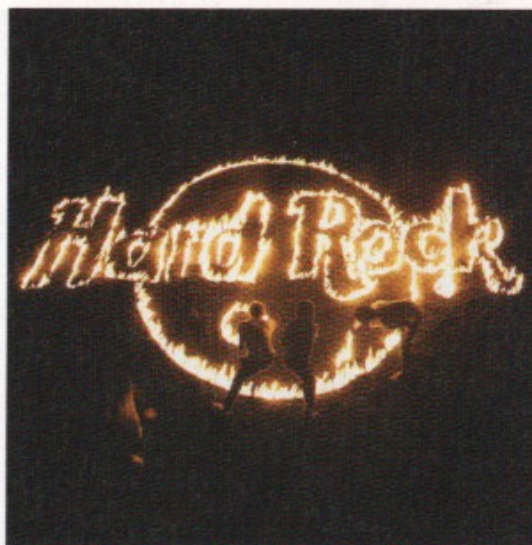
WEST

DESIGN-FESTA-GALLERY

17スペース

EAST

東京都渋谷区神宮前3-20-18-1, 2F www.designfestagallery.com 東京都渋谷区神宮前3-20-2-1, 2, 3F



Chim ↑ Pom 右——イケてる人達みたい02 2008 C-プリント、DVD 左——Saya mau pergi ke TPA 2008 インスタレーション 撮影=宮島径
©2008 Chim ↑ Pom Courtesy Mujin-to Production, Tokyo

メラが映し出すと、その映像を別のカメラが拾い上げ、近くで起こる現象や、カメラの前に直接ぶらさげられたおもちゃなどのイメージも含めて組み合わせ、また別のカメラへと送る。そんな運動が繰り返されて重なり合った画像が、最終

敷のサッカーコートやメンバーの自転車などに灯油を巻いて燃やすだけの行為が、まるでランド・アートのように崇高で幻想的な炎の祭典となる様が、一見子どもの悪戯のような仕儀から立ち上がる四大元素の根源的な力との出会いを示していた。

PROFILE

まつい・みどり 美術評論家。著書に『アートと「芸術」が終わった後の「アート」』『マイクロポップの時代：夏への扉』。

や、汽笛や、拍子木の音すべてを指すと同時に、様々な行為や出来事が、その感覚的役割を交換しあつて「曲」「絵」を構成していることを示唆しているようだ。

ジョナスの作品は、ジョン・ケーダンス・シアターのミニマルなダンスに触発されつつも、ビデオやフィルムカメラという機械の活用や、場の特殊性や偶然的出来事を取り入れて、常識的解釈を超えた

知覚体験を提供し、文脈を逸脱したイメージにより、新たな意味を喚起していた。泉太郎も、9月の個展における新作《干し肉》で、ビデオカメラの機械性と観客の動きの不確定性を使って、作者の意図を介在させずに「絵」(ドローイング)を描く、永久編集機械をつくり上げた。10台のビデオカメラをギャラリー内に迷路のように並べたインスタレーションでは、その中を動く観客の姿を1台のカ

的に2面のスクリーンに映し出される。観客の動きや人数によって「絵」は変化し続ける。ここでは、アーティストの身体の特権性が剥奪されたのち、イメージの無名性と行為の即興性が強調されていた。

こうした、ごく普通の行為がカメラをとおしてパフォーマンスへと昇華されていく過程は、Chim ↑ Pomの映像作品《イケてる人達みたい》にも見出された。河川

ジョン・ジョナス

Drawings and Videos

ワコウ・ワークス・オブ・アート 9月13日～10月11日

泉太郎

マジシャンのパン・日食

hiromiyoshii 9月6日～9月27日

Chim ↑ Pom

オーマイゴッド～気分はマイアミビーチ～

無人島プロダクション 9月19日～10月25日